

# 風化に抗し次代につなぐ

## 平和のために間断ない行動



2016長崎平和フォーラムもよう

長崎の街は、かつて戦争遂行に大きな役割を果たしていました。明治に入り、日本が戦争に明け暮れる中、大陸に近い長崎から、多くの軍馬や将兵を送り込み、産炭地である通称軍艦島で、徴用工として朝鮮や中国の人々を厳しい差別と弾圧の中で働かせていました。また、「戦艦武蔵」を



上田分会長

情報労連平和四行動の一つ「長崎平和フォーラム」は、8月7日～9日の実施に向け、現地実行委員会が準備が進められています。本号では、長崎分会・上田分会長に平和への思いを語っていただきました。

はじめ、多くの軍艦を建造するなど、軍需生産やエネルギー面で、重要な役割を担っていました。今年、中国全土への侵略戦争に突入した盧溝橋事件から80年。世界列強に仲間入りし、強国にのしあがるための戦争、植民地や権益拡大の過程で起こした加害、続く被害、そして原爆投下。被害が拡大するまで戦争を終わら

せることができなかつた先の大戦を反省し、戦争を禁じる国へ。これが憲法の平和主義に刻み込まれた教訓です。日本の今はどうでしょう

う。いつか来た道を戻っているように思えてなりません。各地でやまない紛争・対立・弾圧を他人事としない、日本を戦争のできる国に変えようとする動きに徹底的に反対する、決してあきらめることなく平和のために行動し続ける。これが今を生きる私たちの使命です。被爆者の平均年齢は81歳を超え、「戦争」と「戦争が生んだ被爆の体験」をどのように受け継ぎ伝えていくのか、私たちに問われ続けています。

先日、核兵器禁止条約が国連で採択され、広島・長崎の「ヒバクシャ」の積年の訴えが、世界の歴史的な転換点を導き出しました。また、西本部平和基金の活用で、原爆絵本「世界でいちばん悲しいクラス」の復刻発刊、「原爆許すまじチャイルド」の設備更改など、被爆後100年につなぐ運動も広がっています。風化に抗して、次代につなぐ。ともに頑張ってください。

中学校の野球部に所属している長男の最後の大会が終わった。目標にできなかった成績は残念なかつたものの、途中で投げ出すことなく最後までやり遂げられた。一方、同じ中学校の吹奏楽部に所属している長女も7月末の定期演奏会をもって卒部となる。野球と違い勝敗を競うわけではないが、こちらも最後まで納得のいく演奏をしてほしい。2人とも中学校入学と同時に部活動を始め、慣れないこともあったと思うが、この2年3カ月で精神的にもずいぶん成長したように見える。今後、子供たちは、部活の卒業と同時に高校受験に向け、新たなスタートを切ることになる。これまでの経験を生かすつつ、目標達成に向けて頑張ってもらいたいと思うし、親としても残り数カ月をしっかりとサポートしていきたい。

### 旬感

## 台風・集中豪雨シーズン前に！



副委員長(鹿児島エリア) 日高実禎

7月5～6日にかけて福岡・大分県を襲った「2017年7月九州北部豪雨」により、多くの人命が失われることになった。災害にあわれた方々にお悔やみとお見舞いを申し上げ、被災地の1日も早い復旧を願いたい。防災対策は、自らの身は自ら守る「自助」、地域の住民が互いに助け合って地域の安全を確保する「共助」、自治体および防災関係機関などが市民の生命、身体および財産を守るために行なう「公助」が基本といわれ、私たちは、日頃から「自助」「共助」の部分については

意識しておかなければならない。いよいよ本格的な台風・集中豪雨のシーズンを迎え、自然災害に対する備えが必要になってきた。近頃、頻りに特別警報が発表され、「ただちに身を守るために最善を尽くしてください」とアナウンスされる。最後は自己判断せざるを得ない状況に陥ることもあり得る。その際に判断を誤らないためにも、平常時に家族と非常事態に備え、避難場所や連絡方法などについて話し合い、ルール化しておくことが大切だと思う。

（野付 忍）

九州

8月号 はっけん

発行所  
NTT労働組合  
九州総支部  
〒812-0013 福岡市  
博多区博多駅東3-2-28  
TEL 092-714-8296  
FAX 092-461-2242

発行責任者  
田畑忠治  
編集責任者  
久保里美



## 九州北部豪雨災害ボランティア

被災から2週間経過する中、連合大分のボランティア派遣要請を受け、7月13日から大分分会も派遣を行なっています。主な作業内容は、床上浸水により泥まみれとなった家屋・倉庫内の家財道具の搬出や泥出し等です。水の出ないところは、ポンプや給水タンクを利用し、猛暑の中で下着まで汗だくになりながらも、水分補給と休憩をさみつつ作業を行なっています。



泥だし作業もよう

まだ道路遮断等による立入り禁止区域もあり、復旧に時間がかかることが想定されます。被災地の復興・再生に向け、皆が寄り添い「共助の精神」で支援の輪を継続していくことを誓い合いたいと思います。



浸水被害を受けた家屋

(大分分会 野上 朗)

## 西本部「平和カンパ」

ご協力ありがとうございました。

### 九州総支部集約

**3,309,297円**

ご協力いただいたカンパ金については、N T T 労組西本部の平和活動等に有効活用されます。

## 「吉川さおり」3期目の挑戦

7月11日(火)～12日(水)に開催された第20回定期全国大会において、2019年7月に施行予定の第25回参議院議員選挙における組織内候補として「吉川さおり」参議院議員の擁立を満場一致で決定するとともに、必勝に向け組織一丸となって取り組むことについて確認した。



吉川さおり参議院議員

## 分会スポーツ観戦レク

7月8日、北九州分会は、「スポーツ観戦レク(ギラヴァンツ北九州応援デー)」を実施しました。連合北九州・北九州労福協の割引チケットを活用して、久しぶりのスポーツ観戦レクとなりました。今シーズンからJ3に降格したものの、新スタジアム「みくにワールドスタジアム」で心

機一転、戦うこととなった「ギラヴァンツ北九州」の応援のかいあってか、この日の結果は5対1で快勝でした。

くるりん

北九州分会

「ギラヴァンツ北九州」は、リーグチームの中でも、労働者組織が支援をしている唯一のチームです。実施できていませんでした。今後は、多くの組合員が楽しめるレク活動」を実施し、組合員交流を図っていき

あり、北九州市や地場企業とともに、青少年の育成や地域活性化のため、市民と団体がひとつになり応援を続けています。以前はプロ野球観戦レクなども行なっていた



たいと思います。(佐々木 良二)

## 未来遺産

### くろいばるほうあんでん 黒石原奉安殿

戦後70余年、熊本県合志市の「通信省熊本航空機乗員養成所」に残された「奉安殿」。教育機関として御真影や教育勅語を奉納し、儀式を執り行なうための「奉安殿」は、当時は大理石で化粧された「白く輝く奉安殿」であった。現在、「戦争の悲惨さと平和の大切さ」を考えさせる貴重な資料として残されている。

(熊本分会 岡本成司)

